

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	152-01-01	
事務事業名		水道料金徴収事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)		上水道利用者				
目的(どうしたいか)		水道事業の経営安定化のための適正な水道料金の算定及び収納				
手段(事業内容)		水道メーターの検針から料金徴収までの事務委託				

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	89,507	94,983	95,349
人件費	4,888	3,779	3,795
総事業費	94,395	98,762	99,144
うち市負担分	34,661	38,048	28,351

30年度決算主な内訳
【事業費】 水道料金等関連業務委託料71,280千円、水道料金等管理システム電算機器賃借料6,959千円、水道料金等管理システム変更業務委託料3,780千円、コンビニ収納手数料3,451千円、口座振替手数料1,014千円
【特定財源】 下水道使用料徴収事務費60,714千円

活動指標

指標名	調定額	単位	千円
指標の説明	水道使用料調定額		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	1,989,909	1,968,844	1,961,092

参考数値	
H30給水人口	109,084人
H30給水戸数	43,099戸
H30総有収水量	11,486千m ³

成果指標

指標名	最終収納率	単位	%
指標の説明	収納額/調定額×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	99.11	99.16	100.00

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 人口減少や節水意識の高まりから水需要が減少傾向にある中、水道事業収益の大部分は水道料金であることから、本業務は経営安定化のためにも根幹をなすものである。 本業務における収納率は極めて高い水準であると言えるが、今後も負担の公平性を欠くことのないよう、今後も民間活力で継続すべきものであると考える。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	152-01-02	
事務事業名		水道メーター管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	水道メーター(量水器)					
目的(どうしたいか)		適正な料金算定のために必要な水道メーター(量水器)の購入・管理				
手段(事業内容)		計量法の検定期間満了に伴うメーター(量水器)取替・新設個数の把握・購入及び入・出庫管理				

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	16,839	18,957	30,968
人件費	3,851	5,971	7,893
総事業費	20,690	24,928	38,861
うち市負担分	20,690	24,928	38,861

30年度決算主な内訳
【事業費】 量水器取替費17,704千円 量水器購入費1,253千円
【特定財源】

活動指標

指標名	水道メーター(量水器)取替・新設個数		単位	個
指標の説明	検定期間満了に伴う取替個数+新設個数			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	6,786	6,947	7,510	

参考数値
H30設置メーター個数 43,035個

成果指標

指標名	検定期間満了に伴う取替率		単位	%
指標の説明	検定期間満了メーター取替数/検定期間満了メーター数×100			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	99.7	99.6	100.0	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市では、水道メーター(量水器)の計量法検定期間満了超過防止等を目的に期間満了1年前に取替を行っているため、適正な執行・管理状況であると考えます。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	152-02-01			
事務事業名		人事管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	水道局在籍・過去在籍職員(正職員・再任用職員・非常勤職員・嘱託員含む)				目	総係費
目的(どうしたいか)		適正な労務管理				
手段(事業内容)		給与・人事関連の管理、安全衛生委員会の運営				

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	122	83	172
人件費	3,703	4,157	2,656
総事業費	3,825	4,240	2,828
うち市負担分	3,703	4,240	2,828

30年度決算主な内訳
【事業費】 給与計算事務負担金83千円
【特定財源】

活動指標

指標名	給料処理件数	単位	件
指標の説明	年間給料処理件数(正職員+再任用職員+非常勤職員+嘱託員)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	534	505	487

参考数値
H30職員数 34人 (正職28人・再任用4人・嘱託1人・非常勤1人)

成果指標

指標名	適正処理率	単位	%
指標の説明	人事管理事務において適正に処理した率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的な事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正・中立性が確保された適正な事務の執行・管理状況であると考えられる。 今後、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	152-02-02	
事務事業名		入札・契約事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	入札・契約事務				目	総係費
目的(どうしたいか)		公平・公正な入札、適正な契約事務の執行				
手段(事業内容)		工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務				

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	20,506	21,180	21,180
人件費	6,147	7,936	7,058
総事業費	26,653	29,116	28,238
うち市負担分	26,653	29,116	28,238

30年度決算主な内訳
【事業費】 契約工事検査事務負担金19,091千円、電子入札システム負担金2,063千円
【特定財源】

活動指標

指標名	水道局で行った入札件数	単位	件
指標の説明	水道局で行った入札件数(見積徴取含む)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	95	97	97

参考数値
H30 電子入札件数 53件
契約件数で単価契約の場合は1件でカウント

成果指標

指標名	契約件数	単位	件
指標の説明	1年間で行った契約件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	158	172	172

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられるが、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	152-02-03			
事務事業名		会計事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	水道事業会計					
目的(どうしたいか)		予算を調製し適切な執行管理を行い、決算を調製し経営状況を明らかにすることにより、効率的かつ健全な企業経営を行う。				
手段(事業内容)		水道事業に係る取引について支払伝票等会計伝票を適正に発行し、会計帳簿を備え、損益計算書・貸借対照表等の財務諸表を作成する。				

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	1,823	1,827	1,830
人件費	18,145	24,186	24,285
総事業費	19,968	26,013	26,115
うち市負担分	19,968	26,013	26,115

30年度決算主な内訳
【事業費】 会計システム使用料1,243千円 会計システム保守委託料584千円

活動指標

指標名	会計伝票処理件数		単位	件
指標の説明	収入、支払、振替各伝票処理件数			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	4,211	4,055	4,000	

参考数値

成果指標

指標名	適正処理率		単位	%
指標の説明	会計伝票を適正に処理した割合			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	100	100	100	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 現在、会計システムを活用し、最小限の人員にて効率的で正確かつ迅速に会計事務を行うとともに、公金の適正管理などを行っている。 今後も、適正な予算執行管理と効率的な財務諸表の作成などを行い、水道事業の持続経営の実現に向け、適切に取り組んで行く。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	152-02-04	
事務事業名		広報事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
対象(誰を・何を)	市民・市内事業所・上水道利用者				目	総係費
目的(どうしたいか)		水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。				
手段(事業内容)		広報紙やホームページへの記事の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。				

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	3,086	1,960	2,870
人件費	741	1,134	987
総事業費	3,827	3,094	3,857
うち市負担分	3,827	3,094	3,857

30年度決算主な内訳
【事業費】 広告料1,831千円(ボトルドウォーター生産委託料・見学会パンフレット印刷製本・のぼり等)、ウェブサイト委託業務(更新・保守等)120千円
【特定財源】

活動指標

指標名	市民等への周知回数	単位	回
指標の説明	市広報紙掲載回数+水道局ホームページ更新回数+見学会等イベント開催回数+ボトルドウォーター配布回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	132	97	97

参考数値
H30 ボトルドウォーター生産本数 12,500本(500ml) 見学会回数・参加人数 12回・888人

成果指標

指標名	広報内容種別数	単位	種
指標の説明	市民等へ周知した広報内容種別数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	40	40	40

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 広報紙の記事掲載やウェブサイトの改定等一定の成果は見受けられるものの、水道を取り巻く環境は刻々と変化することから、利用者アンケートの実施や、水道事業の経営状況等を積極的に広報紙やホームページへ掲載するなどの改善が必要と考える。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		152-03-02	
事務事業名		財政・資金計画管理事務事業		事務の種類	
				自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	
				内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計
	施策	5	上下水道		水道事業会計
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		款
					事業費用
				項	営業費用
				目	総係費
対象(誰を・何を)		水道事業経営			
目的(どうしたいか)		健全かつ安定的な企業経営を行う。			
手段(事業内容)		水需要予測や施設・管路更新計画等、収入・支出を詳細に検討し、財政・資金計画の進行管理を行う。			

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	6,665	6,046	6,071
総事業費	6,665	6,046	6,071
うち市負担分	6,665	6,046	6,071

30年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	事務日数	単位	日
指標の説明	計画管理事務を行った日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	3	10	15

参考数値

成果指標

指標名	管理事務達成率	単位	%
指標の説明	計画管理事務の達成率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市水道事業は、今後も給水人口の減少が見込まれる中、各種施設や設備が更新・修繕時期を迎えるなど、将来的には厳しい経営収支見通しとなっている。 このような状況下、平成30年度からは第6次水道施設整備事業を開始しているが、事業の進捗状況から企業債の借入時期・金額の見直しを行った。 今後も引き続き財務諸表等を分析し、経営状況を適切に判断しながら、健全かつ安定的で持続可能な企業経営を行っていく。